

事業所名		Dear Families		支援プログラム		作成日	令和7 年	2 月	20 日
法人（事業所）理念		子どもたちが自然と触れ合いながら、自信を育む第2の我が家。							
支援方針		日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適応することができるよう、当該障害児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導及び訓練を行う							
営業時間		9 時 0 分から 18 時 0 分まで		送迎実施の有無		あり			
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	毎日の健康チェック(検温、血圧・脈拍測定、質疑応答) 日常生活や社会生活を行えるよう、それぞれの子どもが持つ機能をさらに発達させながら、子どもに適した身体的、精神的、社会的支援を行う。 清潔さを保ちつつ、日常の基本的スキルを身につける。 自立を目指した入浴支援。 生活の中で様々な遊びを通して学習できるような環境整備。							
	運動・感覚	個人に合った椅子や机を使用し着席時の姿勢を意識づけ。 姿勢の保持、運動保持が不可能な場合、個人に合わせた自助具、補助具の作成 公園など遊具遊びの提供、バランスボールや、鬼ごっこ遊びなどを通し、筋力や手の感覚を鍛える。 ボール遊び・体操・ダンス…模倣力・協調運動の向上を図る。 季節に応じた自然の中で、保有する視覚聴覚、触覚等の感覚遊び 感覚過敏・鈍麻のある子にも合わせ、過ごしやすい環境調整。							
	認知・行動	0～18歳までの異年齢のかかわり 個別支援、小集団での机上課題の中で数、形、空間能力、の概念等を学ぶ スケジュールの支援…個々の能力に応じた絵カードタイムタイマーを使い活動スケジュールや始終・見通しを掲示 行動障害への対応							
	言語 コミュニケーション	指さしや身振り等を用いた、環境の設定づくりと意思表示 発達に遅れや偏りのある子どもに対して、それぞれの特性に合わせた読み書きの向上 ジェスチャー、絵カードによるコミュニケーションツールの獲得。							
	人間関係 社会性	家族や周りのひととのラポール形成の支援 見立て遊びやごっこ遊びを通じ、模倣遊びを行い、ルールを含めた社会性の発達支援 発達段階に合わせた個別サポートを通じて、日々の中で小さな成功体験を積み重ね。 グループ活動の充実。							
家族支援		家庭での困りごとに対する助言やサポート 保護者同士の交流会の実施。		移行支援		学校、関係機関との連携			
地域支援・地域連携		近所のお店への買い物 清掃活動 農園体験		職員の質の向上		一人一人の児童に対する支援会議の実施 月1の職員研修			